

和地ひとみレポート No.114

新学校給食センター基本設計がまとまり市民説明会を実施。

大規模事業についての当事者意識は・・・



■新学校給食センター基本設計がまとまる

…和地ひとみも市議会の一般質問で度々取り上げている、新学校給食センター建設事業。この度、その基本設計がまとまったことを受け、3月23日と27日には市民向け説明会が開催されました。

…今回の基本設計にあたり、特に配慮した点としては①イニシャルコスト(初期経費)を抑えることはもちろん、稼働後にかかるランニングコスト(運用経費)を抑えること、②衛生管理が徹底できることとしたとの説明がありました。具体的には学校給食法に基づく学校給食衛生管理基準に適合した施設とするために「ドライシステム(→対するウェットシステムという床面に水を撒く方法では、水たまりなどの細菌の発生や水はねによる二次汚染の危険性がある)の採用」「汚染区域、非汚染区域を明確に分けるゾーニング」「エアシャワーの設置」「調理動線の一方通行化」を実現させた内容になっているとのこと。また、アレルギー対応可能に施設として独立したアレルギー食調理室を設置したこと、現在、ランチ皿で提供されている給食をお椀や皿などの個々食器で提供するために必要な食器保管と洗浄スペースを確保したこと、施設見学、試食会の受け入れが可能な施設としたこと、災害時の炊き出しができる施設としたことについて、図面を用いての説明がされました。

■想定される近隣住民の懸念への対策は

…新学校給食センターは、桜が丘市民広場の敷地の一部に建設されるため、周りは住宅街です。説明会では「匂いについては排気口のダクトを屋上に持っていき配慮した」との説明があり、また、日照についても建築基準法をクリアしていること、搬入車の混雑時には、道路ではなく敷地内でトラックが待機できるようにしたことなど、近隣に配慮した点の説明がありました。また、敷地の一部を使用して新たに市道に歩道を設ける計画であることも発表されました。

…これらの点について出た質問は「屋上北側に大きな室外機が多数設置されることになっているが、北側は住宅地となっている。防音対策は考えているのか」というもの。これに対して市は「今後、防音壁などで囲うなどを検討する」と回答。また「搬入搬出口前に歩道を設置することにより歩行者が通ることになるが、トラックが出る際に歩行者に警告するランプやブザーなどは設置するのか。通学路にもなっているので、子どもの安全を確保するためにも設置が必要じゃないか」という意見に対しては、現状、計画はないが検討するという答えに留まったため「設計の段階からぜひ入れて欲しい。後から設置するよりも費用もかからないはずだ」と更に意見が出

ました。これに対しては「何か方策があるかということも含めて検討したい」との回答。

一般的に車の出入りの多い工場、ビルの駐車場などの出入り口には警告灯やブザーが設置されています。市民説明会で出たこのご意見は無理難題ではないはず。現時点では計画はないにしても、積極的に検討するという態度を示すべきだと感じました。

■事業の担当者としての意識は

…27日に開催された市民説明会には建設会社か設計事務所の社員と思われる方も数名出席されていました。この事業については、今回まとまった基本設計についてのみ指名入札が終了しているだけなので、今後の入札に向けて参加されたのではないかと推察します。この「いわゆるプロ」の方からも今後のスケジュールや設計図について、いくつか質問が出ました。今後のスケジュールについては、H26年度に実施設計を行うが、その業者選定については競争入札にするか、基本設計を行った業者と随意契約(=入札はせず契約すること)するかは決定していない。また、費用の多くを占める厨房機器業者についても、現段階では建設工事に含めるか単独で発注するかも検討中で今後の課題だとの回答でした。今年度、実施設計をまとめるというスケジュールに対して、この回答内容は決定していることが少ない印象です。

…また、汚染区域と非汚染区域を分けたゾーニングという説明でしたが、図面上では非汚染区域から汚染区域に作業員行き来する箇所がある点について質問がありましたが、市側はその点に気づいておらず慌てる場面も。おそらく、色分けされた図面の色の塗り間違いではないかと思いましたが、市民説明会実施にあたって、担当者としての準備、確認が不足していると思います。また、学校給食衛生管理基準ではトイレの場所は食品を取り扱う場所、洗浄場所から3m以上離すよう努めることとなっているが図面ではそうならない点についてはどう考えているのかという質問については「立川多摩保健所から特に意見は言われていないが、今後、確認したい」との回答。建設知識はなくても担当者は学校給食衛生管理基準について満たしているかを基本設計の発表前に図面で確認すべき。事業規模はもとより、給食の安全性確保を担っているという当事者意識が市にはもっと必要だと感じました。今後も新学校給食センター建設事業には注視が必要と改めて感じた説明会でした。

31年ぶりに東大和市に新たな認可保育園 玉川上水保育園が開設。

…桜が丘4丁目のマンションと戸建が併設した大規模開発の敷地内に、新たな認可保育園「玉川上水保育園」が開園しました。この保育園は玉川上水駅にも近く、利用者の利便性も高い場所です。園舎は明るい作りで、屋上も園庭として遊べるなどの工夫もされています。

東大和市は今回の新設保育園1園の開設、また他の園の建て替えによる園舎新築という2事業により保育園の定員が142名ほど増えます。市が平成25年4月の待機児童数をもとに、平成26年4月の状況を想定した結果、認可外保育施設の利用や空きがあるのに特定の保育園しか利用しないというような方を除いて算出した「新定義」をもって試算した場合、1歳児7名のみが待機児童となるという状況であるとしています。（旧定義は申し込んだ方全員に対して、入れなかった人が全て待機児童となる）



■玉川上水保育園の概要

- 【設置者】社会福祉法人 立野みどり福祉会
※立野みどり保育園・谷里保育園も運営している法人
- 【所在地】東大和市桜が丘四丁目29番地19
- 【開演時間】通常午前7時～午後6時
延長保育 午後6時～午後7時
- 【利用定員】101名（産休明け～就学前の児童）
0歳児(6名) 1歳児(16名) 2歳児(19名)
3歳児、4歳児、5歳児(各20名)
- 【併設事業】①一時預かり事業 ②子育て広場事業

友好都市「喜多方市」に学ぶ「町おこし」「観光」「市民協働」

町を愛する気持ちと、負けん気がポイント

…3月下旬、市議会の「自由民主党・みんなの党」「民主党」「やまとみどり」の3会派で東大和市の友好都市である福島県喜多方市を訪問し、観光への取り組みなどについて話を伺いました。喜多方市は喜多方ラーメンや蔵の街並みが有名で観光地としての認知は高いですが、もともと歴史的な建造物などの観光的な要素は少なく、町を活性化するために市民の手で作り上げた観光地ともいえます。中でも、喜多方市との合併前に東大和市と友好都市であった旧山都町の観光協会の取り組みは、学ぶべき要素が沢山ありました。



…旧山都町は「蕎麦」「グリーンツーリズム」「四季折々の花を楽しめる」ということを中心に町おこしを行っています。全てが商工会、市民ボランティア等により支えられているもの。昭和37年に観光協会が設立のきっかけとなった登山イベント「飯豊の集い」の開催経緯は「裏磐梯に大勢の登山客がきているのだから、飯豊でもできるだろう」という商工会青年部の負けん気、ライバル心からとのこと。また、蕎麦で町おこしを考えたのも、昔から地域で食べられている蕎麦をより高めれば町おこしにつながると考え、都内の有名蕎麦店を講師に迎え『蕎麦大学』を開催。家庭でおばあちゃんが打っていた蕎麦を、男性が職人的に打つということに変え、山都町の観光資源に育てあげました。今では県外からも多くの蕎麦好きが町を訪れているとのこと。さらに、休耕地にアジサイ、桜などの季節の花を植え、花の名所に育てあげているのも地域の村おこし実行委員会のボランティアの方たち。昭和30年代からの取り組みは今でも進化させながら継続しています。

…話を聞いてわかった山都町の町おこしの原点は「市民の町を愛する気持ち」と「周辺地域に負けないという負けん気」。さらには、行政にしかできないこと、市民が中心になって行った方が良いことについての役割分担が自然とできており、良い形の協働体制が整っていることもわかりました。また、少ない予算でも工夫をし、汗をかいて様々なチャレンジをしているところも見習うべきところ。喜多方市とは様々な交流はありますが、こういった施策の進め方についてももっと情報交換を行うべきだと思います。

…旧山都町は素朴な山間の町ですが、日本一の蕎麦や花いっぱい町を堪能しに、是非、多くの市民の方を訪れていただきたいと思いました。（東大和市には喜多方市訪問に際する補助制度もあります）

市政、議会について「自然体」「ざっくばらん」にレポート

「身近なようで知らなかった市政、議会。伝えることがスタートだと思います。」



【プロフィール】1970年 東京都北区生まれ。父の転勤で1歳から群馬県で育つ。幼稚園からカギっ子。リーダーシップを発揮し、小学校で児童会長、中学校でも生徒会長を務める。大好きな音楽を究めようと武蔵野音楽大学に進学、卒業。卒業後は群馬の山奥の小学校で臨時教諭として担任を2年勤め、新しい試みで授業を活性化させ「元気印の先生」として保護者・生徒から親しまれた。／「学校」の外の一般社会で挑戦しようとベンチャー企業の(株)シートゥーネットワーク（※スーパーマーケット）を経営。店頭公開から一部上場、外資系企業に転換に社長秘書として入社。のち店舗現場に異動、同社で初の女性店長となる。その後、人材開発部長を拝命。／『人を活かす』経営を学ぶため一念発起しカナダに留学。外から見た日本の将来に、漠然とした不安を感じる。帰国後もベンチャー企業を選び不動産投資会社に勤務。／同じビジネス界出身の加藤公一代議士との出会いに触発され、政治への道を志して2010年末に退社。現在、新人東大和市議会議員として、日々、奮闘中。

- 連絡先 和地 ひとみ事務所 HP: <http://www.wachi1103.jp>
- ✉ wachi_hitomi@cocoa.ocn.ne.jp 【電話・FAX】 042-516-8546
- 〒207-0005 東大和市高木3-274-2-102

東大和市 市議会議員
和地 ひとみ